

江戸つ子

清潔都市

気楽な長屋暮らし

森林都市

第15回福岡市史講演会

近世都市の記憶

―江戸と博多、そのイメージを問う―

令和元（2019）年10月5日（土）

双子都市

国際貿易都市

博多三傑

博多つ子

講演1 幸せな江戸像を問う

講師：岩淵令治氏（学習院女子大学教授）

講演2 近世における「博多」ブランドの消長

講師：中野 等氏（九州大学大学院教授）



福岡市博物館
Fukuoka City Museum

時間：13:30~16:00（予定） 場所：1階講堂
入場無料、先着240名様、事前申込不要
※当日12:30から入場整理券を配布、13:00に開場します。

主催：福岡市博物館 市史編さん室 / 共催：福岡市史編集委員会

忘れ去られる歴史、創出されるイメージ、その先にあるもの

江戸時代が終わったのは今から150年以上も前です。人口統計で江戸時代生まれが少数派に転じたのが明治26(1893)年。江戸時代生まれであることが確かな方が最後に亡くなったのが昭和51(1976)年のこと。令和の時代を生きる私たちにとって江戸時代はとてとても遠い時代になっています。しかし、一方ではイメージとして消費される「江戸時代」は私たちの周りにあふれています。物語の題材や町づくりのイメージ、様々な商品の中に「江戸時代」を見つけることができます。果たして、こうした場面で使われる「江戸時代」のイメージはどこまで真実の姿を伝えているのでしょうか。今回はその中でも特に都市に関わる部分について、江戸と博多を事例にお話をさせていただきます。

講師紹介



岩淵令治 (いわぶち・れいじ)

1966年東京都生まれ。学習院大学文学部卒業、東京大学大学院人文社会研究科博士課程修了。博士(文学)。国立歴史民俗博物館総合研究大学院大学准教授などを経て現在学習院女子大学教授。著書・論文に『江戸武家地の研究』(塙書房、2004年)、「遙かなる「江戸」 創出される町人のユートピア」(『書物学 第9巻 江戸の欲望/江戸という欲望』勉誠出版、2017年)、「遙かなる江戸の此方にあるもの」(『歴史学研究』966号、2018年)など。



中野 等 (なかの・ひとし)

1958年福岡県生まれ。九州大学大学院博士後期課程中退。博士(文学)。柳川古文書館学芸員などを経て、現在九州大学大学院教授。福岡市史編集委員会近世専門部会専門委員。著書に『秀吉の軍令と大陸侵攻』(吉川弘文館、2006年)、『戦争の日本史〈16〉文禄・慶長の役』(吉川弘文館、2008年)、『新修 福岡市史 特別編 福岡城-築城から現代まで-』(編集責任者、福岡市、2013年)、『太閤検地 秀吉が目指した国のかたち』(中央公論新社、2019年)など。

講演会当日に博物館でご覧いただける展覧会

侍～もののふの美の系譜～	9.7～11.4	特別展示室
古(いにしえ)の刀剣	8.20～10.20	企画展示室1
「肖像」を読み解く	9.10～11.10	企画展示室2
福岡市 これまでとこれから2	7.17～10.27	企画展示室3
筒描-庶民生活の華-	8.6～11.17	企画展示室4

※展覧会は入場料が別途かかります。

- 🕒 開館時間 9:30～17:30 (入館は17:00まで)
- 🚌 博多駅や天神からは、バスや地下鉄をご利用下さい。
- 🚗 無料駐車場 大型バス10台、普通車250台もあります。

博物館周辺図



〒814-0001 福岡市早良区百道浜3丁目1-1

お問い合わせ：福岡市博物館 市史編さん室 ☎092-845-5245 Fax092-845-5019

表) ④名所江戸百景 日本橋雪晴、⑤福岡図巻、裏) ①松栄御江戸絵図、⑦正保福博惣図 いずれも福岡市博物館蔵